



スクープ

ダライラマ14世と密談!



4月に来日した、チベットのダライラマさんと日本の教育について、話をしました。

日本政府は、公式な来日として認めていませんから、私とも非公式な会談でした。ダライラマさんは、日本の子供たちの問題(暴力、いじめなど)をととてもよくご存知だった。それを直すために、道徳教育が必要だといわれているけれ

ども、子供は非常にナイーブで、道徳を説いている先生や親達、つまり大人達の心を感じ取ってしまうもの。道徳を説く人が、日常の活動の中で、本気で「道徳」を実践していない限り、効き目がないでしょう・・・とお話されました。どんな宗教でも構わない。大人達の方が、常にそういう心(道徳心)を養っていくことが大切だと話されたのが、印象的でした。

国会ガイド 今国会の見どころ

- 平成12年度補正予算案
- 参議院選挙制度改革に絡む公職選挙法改正案
- 永住外国人地方参政権付与法案
- あっせん利得処罰法案
- 少年法改正案

Information

鳩山由紀夫君とともに
21世紀の政権をめざす集い

日時 / 2000年11月27日(月) 午後6:30 -
場所 / 東京プリンスホテル「鳳凰」 会費 / 20,000円
開催当日受付でも承ります。

詳しい内容のお問い合わせは、21世紀の政権をめざす集い実行委員会事務局まで ☎03-3508-7334

鳩山由紀夫後援会に入会してください。



後援会入会に関するお問い合わせ、ご連絡等、ご一報頂ければ、担当者を伺わせます。

入会申込書	フリガナ	性別	生年月日
	お名前	男女	明大 昭平 年 月 日生
	ご住所	〒 TEL () FAX () お勤め先又はお仕事 TEL () FAX ()	
ご紹介者お名前	ご住所 TEL ()		

鳩山由紀夫の政治活動にご協力をお願いします。

昨年末「政治資金規正法」が改正され、政治家は、企業や団体から政治献金を受け取ることができなくなりました。つまり、鳩山由紀夫をご支援くださる皆さんの個人献金だけが、鳩山由紀夫の政治活動を支えることができます。皆さまの物心両面にわたるご協力をお願い申し上げます。

友愛政経懇話会

お問い合わせ、お申込みは鳩山事務所 ☎03-3508-7334(東京)・☎0413-43-8108(室蘭)・☎0144-32-8108(苫小牧)・☎01464-2-5485(静内)まで。

ホットが届く。

鳩山由紀夫代議士の国政ニュースを毎月八ガキで皆さまのお手元にお送りします。いちばん新しい話題がよくわかる、ホット宅配便をどうぞ



はあと通信



はあと

衆議院議員
鳩山由紀夫
後援会機関誌

2000年9月

創刊1号

ネラウは新政権!



鳩山由紀夫後援会 / 室蘭市東町2-3-3セントラルフォームYHY 電話0413-43-8108
国会 / 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館334号室

発行：平成12年9月30日 デザイン編集：(有)プロップヘッド/コジュウト・タマオ 表紙イラスト：諸岡 理 印刷：北海印刷(株)



Message
メッセージ

皆さま、お元気でしょうか。

今回は、敢えてこんなエピソードからお話ししましょう。9月の上旬にロシアのプーチン大統領が来日した折に、30分程度でしたがお目に掛かる機会がありました。私より小柄でびっくりしましたが、開口一番、「鳩山ファミリーの方にお会いできて幸せです。」と言われました。続いて、「野党が批判的なことは良いことだ。森総理をたくましくするから。」と話されたので、お言葉ですがと思い、「鳩山一郎の作った自民党を倒すために民主党を作りました。来年には民主党政権を樹立します。」と答えました。するとプーチン大統領は冗談っぽい笑顔で「革命でも起こすつもりですか?」と聞き返したのです。ロシアの大統領らしい言葉だなと思いつつも、どうも海外の要人達も「政権は自民党」と思い込んでいる節があるのです。もっとも、「弱い森総理」自体が、世界の常識になっているようです。

考えて見れば、民主党が行なおうとしていることは革命ではありませんが革命的事業です。そして、容易ではない



ことは承知していますが、国民のために成し遂げなければならない仕事なのです。今回の衆議院議員選挙の結果は、その基礎を築くことができたと確信しています。



厳しい中にも、希望を感じられた選挙に感謝

総選挙では皆さまに大変お世話になりました。投票日になかなか当選が確定せずに、多くの方から「寝不足になった」と言われてしまうくらい、ご心配を掛けてしまいましたことを、お詫びします。この数年間、地元に戻る機会を失っていました私であるにも関わらず、辛抱強く応援して下さいました皆さまに、あらためて感謝申し上げます。何とも嬉しかったのは、「自分の信念を貫け」との声でした。選挙となると、与党が未来に対して責任ある公約を示し、

野党は無責任にバラマキの政策を示すものと理解されていたかもしれません。ところがどうでしょう。今度の選挙で、自民党は、一切未来を示そうとせず、景気対策と称してバラマキの政策を訴えるばかりでした。私は野党民主党の代表として、敢えて公共事業の大胆な見直しや、所得税の課税最低限の引き下げなどの「苦い薬」を提示し、選挙に臨みました。財政が破綻状態になっているのに、「甘い水」は大変に危険だと思ったからです。どちらが正しい主張であったかは、選挙直後から、自民党の亀井政調会長が、公共事業の見直しのパフォーマンスをしていることや、また、政府の税制調査会が課税最低限の引き下げの議論をしていることから明らかでしょう。安易な心を選び、未来を誤まる道を歩むか、厳しくとも未来に続く道を歩むかは有権者の判断です。私は景気が厳しく、公共事業にいまだに負っている地元の皆さまが、苦しい選択の中でも「未来」を選んで下さったことに、大きな希望を感じているのです。



クリーンこそ誇りの民主党を目指す

9月の代表選挙が無風に終わり、2期目の代表を努めることになりました。山本譲司前議員の不祥事が起きた直後だっただけに、大嵐の船出となりました。しかし、この船を座礁させることなく、「参議院議員選挙勝利」という岸に着け、更に「政権奪取」の大陸に上陸させなければなりません。難事業であればあるほど、やりがいがあります。山本譲司前議員の事件は、彼を議員辞職させて終わりという訳にはいきません。全ての議員の実情を調査し、政治家と金に関する不透明な部分の公開を徹底します。そして、秘書の給与など国の助成のあり方を総合的に再検討する必要があります。民主党はお金に最もクリーンな政党でなければなりません。そうでなければ、既得権益を打破して、新しい「市民が主役」の政治を実現することなどできるはずがないからです。それゆえに、「あっせん利得収賄罪」の法案をこの臨時国会で成立させなくてはなりません。広く政治家が依頼を受け、行政に口利きをし、その報酬を得ることを禁止する法律です。民主党はかねてからこの法案の成立を望んできましたが、漸く自民党も重い腰を上げ始めました。ただし、彼らは自分達の政治活動が制限されないようにと、三重、四重の「抜け道」を用意していますので、ザル法になる懸念があります。我々民主党は、自民党が抜け道を作らないよう、厳しい姿勢で議論していきたいと思っています。

民主党代表としての二期目

— 自立・責任・共生 —

9月9日の党大会で、民主党の代表として再任していただきました。代表受諾演説は、敢えて「自立」と「責任」と「共生」の「理念」を強調しました。それは、現在の自民党政治が権益擁護に走り、民主党の政策を形だけ盗むなど、政権維持が目的で、理念のかけらも無いことを憂えてのことです。大マスコミは、私の話は理念ばかりで、具体性が無いといつも批判します。そうでしょうか。私は理念のない政治の漂流がモラルを失い、責任をとらない社会を作ってしまったのだと思うのです。理念がしっかりしていれば、具体的な政策は、必ずついて来るのです。経済成長で得たパイを、利益団体に還元しながら、選挙の集票マシンとして期待する「権益政治」は、「自立」とは程遠い「依存」の経済を



作り上げました。結果としての財政赤字は、「今生きている人達」の「無責任」が、「これから生まれ来る人達」との「共生」を拒んでいるという状況を作り上げました。だからこそ、規制改革を断行し、既得権政治

を打破し、中央集権から地方分権への本格的な流れを起こし、財政改革の道を示すことこそ、今の時代の政治家に課せられた義務なのです。社会政策も、「依存心」を煽るのではなく、例えば、福祉ではリハビリを重視することや、小規模でもお年寄りが自ら生きることを見出すことの出来る「自立」のための施設を整えることです。構造改革に伴う雇用についても、給付金の充実よりも、職業訓練に力を入れるべきでしょう。最後に地方分権について一つの例で話します。日高高規格自動車道の見直しの議論が政府に起きるや、地元の首長さん方が、国会議員を連れて政府に陳情しています。自民党がシナリオを作っているのでしょうか。なぜこんなことが起こるのでしょうか?それは地方の道路にまで、国が権限も財源も握っていて、地方が独自で事業を決めることができないからです。地元の声、そのまま事業に反映されることがなく、結果として無駄が多いものができ上がっていくのです。地方のことは地方の人々の意思で決められるように、権限も財源も地方に委譲すること、それが地方分権です。この考え方が民主党の原点というべき、1丁目1番地なのです。自民党には全く真似できません。それには、みなさんが「自立」する覚悟と「責任」を持つことが何より必要です。国民の意識改革こそ、この国を救える唯一の道と信じています。私達のふるさとを、私達の心で救い出そうではありませんか。

The Truth ザ・真相シリ-



解決する
のウワサ このウワサ……
ウワサの真相をお届けします。

「公共事業はもういらぬ」 の真相

先の選挙では、「公共事業はもういらぬ」という「デマ」により、大変厳しい選挙を強いられました。私は一度も、全ての公共事業が不要だとは言っておりません。確かに、無駄な公共事業は止めるとは言いました。選挙中、公共事業は必要だと盛んに叫んでいた自民党が、選挙の結果が厳しかったことで、突然、公共事業の見直しを唱え始めました。自分達の選挙だけを考えるから、簡単に政策を180度転換させてしまうのです。これが自民党の実体です。ただし、自民党が見直そうとしている公共事業によって、財政的な効果を生むことはできません。今回の与党三党の見直し策では、抜本的な改革には、絶対にならないのです。そもそも、個別の公共事業の決定は、どこでなされているのか、皆さんご存知でしょうか。

一口に公共事業といっても、国・都道府県・市町村のそれぞれが行う事業があり、都道府県や市町村が行う公共事業の中にも、国からの補助金によって財政措置が取られるものもありますから、ほとんどの事業の決定権は、国が握っているといってもいいでしょう。国とは何でしょうか。それは、建設省や農林水産省や運輸省などの中央官庁なのです。国会議員が関わるところは、内閣、つまり大臣が閣議において、公共事業費の大枠を了承するのみで、どの事業にどれだけの費用を充てるかという、いわゆる「箇所付け」という作業は、各官庁の役人が決めているのです。各官庁では、獲得した予算を余らせないために、不要でも、地元住民が反対しても、強引に事業を行うという事態が発生し、それが無駄な公共事業を生む構造になっているのです。我々民主党は、この「箇所付け」を、国会で決定する「公共事業コントロール法案」を、何度も国会に提出してきました。この法律によって、個々の事業に関して、必要なものかどうか、地元住民のためになるかどうかなど、国会議員の責任によって議論し、決定していくことができるのです。しかし、今までかつて、議論されたことは一度もありませんが、民主党は引き続き、臨時国会でも、同法案を提出し、真剣な議論を求めて参ります。

「課税最低限の 引き下げによって増税になる」 の真相

私は、先の選挙中、「課税最低限の引き下げが必要」という論を曲げずに通しました。これについては、党内議論が不十分のまま、私の思いが先行したことで、党内にご迷惑をお掛けしたことは、お詫び申し上げたいと思っております。しかし、これも言葉足らずの報道で、私の真意が伝わらなかったことを、残念に思います。日本の所得課税最低限は、やはり高すぎるのです。これは早急に議論をし、日本の成熟度にあったレベルまで、下げたいという思いは変わりません。税金は、誰もが負担するのが正常な、そして成熟した社会だと思っているからです。サラリーマンの15%が非課税というのは、一部の人に負担を強いていることを意味し、しかし税金を納めていても、非課税でも、同じ権利を持っていることは、不公平な社会を生み出しているということなのです。その不公平感は、30代、40代の若い世代、すなわち、21世紀の日本を背負って立つ世代に、特に重くのしかかっている現実にも、私は高齢化社会への対応と同じくらい真剣に見つめなければならない課題だと思っているのです。所得課税最低限の引き下げを検討することを突破口に、私は税制全体を、再構築しなければならないときが来ているというのが、本当の思いです。相続税や贈与税など、個人の蓄財を悪とするような制度や、寄付行為などについて優遇措置の足りない現状、文書作成など細かな作業にもかかる印紙税や、そして、個人が一体いくらの住民税や所得税を納めているのか、全くわからないような税率の計算など、改めるべきことは多々あります。所得課税最低限の引き下げだけをすれば、負担増になるでしょう。しかし、これら税制全般を再構築することで、必ずしも負担増にはならないと思っており、また透明な税制によって、税金を預かる政治への信頼も高まるものと信じております。



「民主党は都市型政党」 の真相

今回の選挙では、地方と都市の違いがあからさまになったといわれています。地方と都市部では、政治に求めること、すなわち政治風土が違うということは、誰もが思ったことかもしれません。民主党は、都市部のサラリーマン中間層にターゲットを絞った政策をいくつか打ち出し、それが躍進の一因であるならば、「都市型政党」と言われても当然かもしれません。今回民主党が躍進をした東京や愛知などの大都市部、そして県庁所在地のある1区では、それぞれの基礎自治体である市区が、国にお伺いを立てなくても決められる権限を多く持っています。政令市や中核市と呼ばれる自治体です。そこに住む住民は、国会議員と接触しなくても、生活が成り立っているということです。しかし、



地方はまだまだ、国の力、国会議員の力に頼らざるを得ないところが多いでしょう。ですから我々は、思いきって国から地方へ、権限と財源を委譲することで、住民に身近な問題は、住民の近いところで解決できるような体制にしたいと思っています。別の角度から言えば、町や村の持っている権限では、それは不可能です。ある程度の人口や財政規模を持って、自立した自治体となることを切に望み、国会議員は地元の利益誘導をするのではなく、国政の諸問題の解決に専念できる体制を作っていきたいと思っております。



第42回総選挙の闘いを省みて そして、今後の後援会活動について

去る6月に行われた衆議院総選挙は、きわめて厳しい政治及び選挙情勢の中闘われ、鳩山由紀夫を5度国政壇上に送ることができました。これは偏に後援会役員さらには会員の温かいご後援を頂いた結果と厚く御礼申し上げる次第です。

後援会連合会は総選挙終了後7月17日役員会を開催し、今次総選挙の反省と課題について、いわゆる「総括」をいたしました。この役員会での結論は今回の選挙を良き反省材料として、後援会活動も初心に戻って、組織の立て直しをはかり「鳩山由紀夫」の政治活動を支援していくことを確認したところであります。つきましては、その中心的な内容と取組みの日程をお知らせ致しますので、各市町村後援会の強力な取組みをお願い申し上げます。

年内には全組織体制を再構築し、
新しい21世紀にむけ新たな出発と致します。

- 1) 市町村後援会体制の再構築と役員について
 - ・ 組織体制の点検を行い、
役員欠員等については補充をはかります。
 - ・ 日程的には10月末を目途にすすめていきます。
- 2) 後援会連合会の体制と役員について
 - ・ 市町村後援会が構築された後、体制も含め総合的に検討をしていきます。
 - ・ 日程的には11月末を目途にすすめていきます。
- 3) 組織体制の確認月間について
 - ・ 12月を組織体制の確認月間として役員、
会員による諸会議を開催していきます。
- 4) 後援会と鳩山事務所との連携について
 - ・ 選挙対策本部を解散しました。このことにより現在は通常の後援会活動の取組みをはかっています。各市町村後援会役員は専従していませんので活動の取組み、連絡等は鳩山事務所の地域担当秘書と連携の上活動の展開をお願いします。なお、後援会連合会(本部)に対する要望、意見は地域担当秘書経由でお願いします。



ブエナビスタ・ソシアル・クラブ

自分のスタイルで楽しむお年寄りたち

8月に日本に来日した、キューバの「ブエナビスタ・ソシアル・クラブ」というミュージシャンをご存知でしょうか。かつて、キューバで一世風靡した音楽家達が、あることをきっかけに、また大ブームになっています。今回は15人ぐらいのミュージシャンが来日し、全国でコンサートをしましたが、80以上のお年寄りが中心メンバーなのです。しかし、とてもとてもその年には見えない若さとパワー…。踊りがうまいとか、スタイルがいいなどということは別にして、自分のスタイルで、音楽を楽しみ、ダンスを楽しんでいるところに、人間的魅力を感じました。観客も総立ちの盛り上がり。私もついつい…最初は、立ち上がって踊るのは恥ずかしかったけれど、みんながやりだすと、やらないほうが恥ずかしい気がして…。

ニューヘアスタイルの秘密

「キムタクになったみたいな気分」

…。 どういうふうに変身するのかを楽しみに、新しい美容室に
いってみました。キムタクも行っているという「ビュートリウム」という美容室です。「整髪」とは程遠い、自然に見せるのが、今のスタイルだということがわかりましたが、なかなか自分では自然に見せられないのが、



竹馬の友・大二郎が「人相が悪い」

9月9日の党大会に、ゲストとしてお招きした橋本大二郎高知県知事は、小学校(学習院初等科)の同級生です。民主党が女性に人気がないのは何故かというシンポジウムでの質問に、「鳩山くんは人相が悪いからだ」と大二郎クンから言われてしまいました。最近、親しい友人から、よくそのようなことを言われて、ちょっと気になっています。人相が悪いと思わせてしまったときは、どうか注意して下さい。

“ふるさと”で、夏のもちつき、初体験。

苦小牧にお住まいの清水さんから誘われて、もちつき大会に行ってきました。

清水さんのご自宅のガレージで、30人ぐらいの人が集まっていた。もちつきって、結構疲れるんですね…。それに、真夏のもちつきなんて初めてでした。ここ数年、このようなアットホームなお付き合いがなかったので、久しぶりに“ふるさと”に来たという思いがしました。

新しい代表室 国会議事堂に挑む

代表に再選されてから、新しい代表室に引越しをしました。今までも、広い部屋という周囲の要望はあったのですが、そうすると幹事長とフロア が分れてしまい、なにかと不便だったので、権威の象徴のような広い部屋より、機能を優先して小さな部屋にいました。しかし、党三役も新しくなり、党本部全体をより機能的に使えるようにするために、思いきって引越しをしました。会議ができるスペースもあるので、多くの方にきていただいて、いろいろな議論をしたいと思っています。私の席から、真正面に国会議事堂が見えます。国会に真正面から挑む鳩山の姿を見にいらしてください。



- 1 月
- 8日 日高東部三町新年交礼会(浦河、様似、えりか)
日高中部新年交礼会(新冠、静内、三石)
日高西部三町新年交礼会(日高、平取、門別)
- 12日 民主党西胆振ブロック新年交礼会
- 13日 民主党北海道第9区合同選挙対策本部 苦小牧・東胆振ブロック選挙対策会議
鳩山由紀夫国政報告会(苦小牧市民会館)
- 14日 日本記者クラブ講演(日本プレスセンター)
- 16日 民主党2000年度定期党大会(神戸ポートピアホテル)
- 17日 阪神淡路大震災5周年犠牲者追悼式
- 30日 鳩山由紀夫国政報告会(室蘭)
- 31日 民主党「もう一つの国会」開会
民主党緊急全国集会(憲政記念館)
- 2 月
- 2日 クスネル国連事務総長特別代表面談
- 3日 民主党「もう一つの予算委員会」
- 4日 外国特派員協会講演(特派員協会)
- 9日 本会議代表質問
- 23日 クエストionタイム(党首討論)
- 3 月
- 4日 連合「世直し国民大集会」
2000年春季生活闘争中央総決起集会
- 8日 クエストionタイム(党首討論)
- 15日 民主党IT革命シンポジウム(ホテルニューオータニ)
- 18日 苦小牧地方総合開発期成会要望会
北海道9区総支部新代表 合同選対本部
合同記者会見(鳩山、池端、苦小牧)
- 22日 クエストionタイム(党首討論)
- 29日 クエストionタイム(党首討論)
民主党有珠山周辺災害対策本部設置(3/30現地入り)
- 4 月
- 7日 有珠山対策について総理へ申入れ
- 10日 本会議代表質問
- 19日 クエストionタイム(党首討論)
- 22日 日高総合開発期成会民主党要望会
躍進する民主党国政報告会(静内町公民館)
鳩山由紀夫代議士を囲む緊急集会
- 25日 民主党・部落解放同盟政策協定調印式
- 27日 園遊会
- 28日 英国グッド社・有珠山噴火被害者への掃除機贈呈式

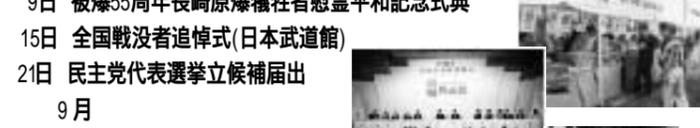
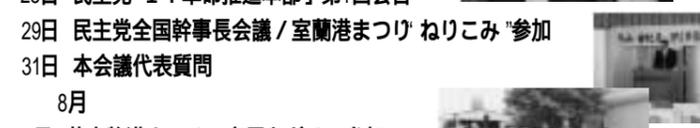


問題意識 「夕照苑」視察

滋賀県大津市にある「夕照苑」という施設を視察に行きました。二人の介護士に、五人の痴呆症のお年寄りが共同生活をしているところです。ここにいるお年寄りたちがとても楽しそうだったのが印象的でした。そこで暮らす人たちが、とても生き生きと過ごしているにも関わらず、ここには国の補助金が全くでないのです。

理由は、介護士一人が25時間労働で、一日交代の勤務であり、それは労働基準法違反だということ、木造の建物ではだめだということ、また、お年寄り一人当たりのスぺー

- 5 月
- 1日 第71回メーデー中央大会/
苦小牧・室蘭メーデー式典参加
- 10日 クエストionタイム(党首討論)
- 11日 中華人民共和国、唐家璇外交部長(外相)
- 18日 民主・自民党首会談
- 23日 野党党首会談
- 25日 外国特派員協会講演(特派員協会)
- 26日 民主党沖縄サミット対策本部
- 6 月
- 12日 7党首公開討論会
- 12日 『総選挙前夜 民主党ライブ』演説会
- 13日 衆議院総選挙公示
- 25日 衆議院総選挙投票日
- 7 月
- 6日 民主党総選挙総括第一次討議
- 18日 民主・自民党首会談
- 20日 欧州委員会、プロディ委員長
- 25日 民主党「IT革命推進本部」第1回会合
- 29日 民主党全国幹事長会議/室蘭港まつり「ねりこみ」参加
- 31日 本会議代表質問
- 8 月
- 5日 苦小牧港まつり「市民おどり」参加
- 6日 広島市原爆死没者慰霊式、平和祈念式典
- 8日 民主党IT革命推進本部第1回総会
- 9日 被爆55周年長崎原爆犠牲者慰霊平和記念式典
- 15日 全国戦没者追悼式(日本武道館)
- 21日 民主党代表選挙立候補届出
- 9 月
- 4日 民主党北海道第6回定期大会
- 5日 ロシア、プーチン大統領
- 9日 民主党大会、代表に再任



本当の社会保障制度を考える。

スガが4畳半以上でなければいけないという基準を満たしていないことなどが挙げられるそうです。住み慣れたところ、住みやすい環境がお年寄りには必要なはず。補助金が出れば、介護士も、もっと雇えるのかもしれないし、新しい建物でなければ、補助金が出ないなど、国の基準の方がおかしいのです。そもそも、国が基準を作るものなのかどうかも、今後検討しないといけないう、人々の日々の生活については、もっと地方が自主権をもって決められるようになってはいけないという気持ちを強く持ちました。



あっせん利得収賄処罰法について

私は昨年代表選挙の時から、政治家の金権体質がもたらす国民の政治不信を解消するために、この法案の成立を強く訴えてきました。既に民主党が中心となって野党案は提出されています。この度、自民党も遂に重い腰を上げて与党案を作りましたが、私達のものとは似て非なるものとなっています。政治家が行政に対してあっせんを行なって報酬を受けることを禁止する法律について、私達はまず国会議員が範を示すべきと思っていましたが、与党はその対象を地方議員などに広げました。それは結構なことですが、秘書をわざわざ公設に限っていません。私達は私設の秘書も含むべきと考えます。また、私達は第三者を通じて報酬を得た場合も処罰すべきと考え

ますが、与党は第三者のことは書き入れていません。さらに、与党は「請託（内々の頼み事）を受けたことを犯罪の条件にしていますが、密室で行なわれるであろう「請託」は極めて証明しにくいものです。著しく適用しづらい法案にしているのです。そればかりではありません。与党はあっせんの行為も行政処分や契約に限定していますし、権限を持っていることが条件ですので、大臣や政務次官などに限られてしまうとも読めるのです。結局、自民党の政治家の政治活動は、何ら制限されないのではないかとさえ思うのです。これでは森内閣でなくて、ザル内閣です。ザルの目をふさぐ法案を私達は用意しています。

あっせん利得収賄処罰法案の比較

項目	民主党（野党）修正案	自民党（与党）案
犯罪の主体	国会議員、地方議員、首長 公設秘書、私設秘書	国会議員、地方議員、首長 公設秘書
請託の有無	請託を受けることは条件なし	請託を受けることが条件
第三者	処罰を明記	処罰を明記せず
行為	職務に関する行為全般	契約の締結、行政処分
地位利用の有無	権限に基づくか否かは無関係	権限に基づく影響力を行使した場合
未遂罪	未遂も対象 (要求、約束、申し込みも対象)	未遂は対象外（利益を収受、供与）
利益の収受	財産以外の報酬も含む	財産上の利益のみ

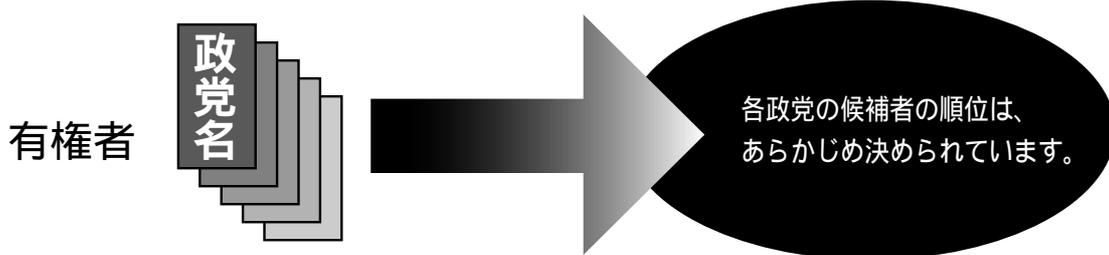


参議院選挙制度改革について

あと10ヶ月足らずで参議院の選挙が行なわれるという今になって、突然に自民党が選挙制度を大きく変えようと法案を準備しています。参議院の比例代表選挙を、「非拘束名簿式」というものにしようとしているのです。今までの「拘束名簿式」では、選挙前に各党が候補者の順位を決め、有権者が政党名を書くことにより、政党の獲得議席数に応じて、名簿上位から当選者が決まっていた。今までの「拘束名簿式」は、事前に順位を決めず、有権者が政党名か各党の比例代表候補者の名前を書き、その合算によって、政党の当選者数を決め、得票の多かった候補者から順に当選するという仕組みです。自民党は、最近政党名をなかなか書いて貰えなくなったので、個人の名前を書く選挙に改めようとしているのです。まさに党利党略です。そもそも久世公亮前金融再生委員

長が団体から得たお金で、議席順位の上位を買っていたことが明らかになったため、それをゴマ化するために、制度の議論に摩り替えてしまおうとしているのです。個人名を書く選挙になるのですから、候補者は全国を駆け巡らなくてはなりません。1980年まで行なわれていた全国区の選挙に近いものに戻ることになります。かつて私の父も、全国区の時、大変にお金がかかったと嘆いていました。お金がかかり過ぎるために、廃止されて今の制度になったのです。それを元に戻すというのは、お金がある人や政党が有利になります。また、政治に向くか否かを問わず、人気スターが候補者として並ぶことになります。それで政治が良くなるのでしょうか？民主党は、政権側が自分達の都合に良いように選挙制度を変えることを、けっして許しません。それは民主主義の自殺行為だと思います。

現行制度～



与党改革案～

